

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【公表番号】特表2003-528610(P2003-528610A)

【公表日】平成15年9月30日(2003.9.30)

【出願番号】特願2001-570750(P2001-570750)

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
A 61 K	31/7088	(2006.01)
A 61 K	35/76	(2006.01)
A 61 K	48/00	(2006.01)
A 61 P	1/04	(2006.01)
A 61 P	3/04	(2006.01)
A 61 P	9/00	(2006.01)
A 61 P	9/10	(2006.01)
A 61 P	9/14	(2006.01)
A 61 P	15/18	(2006.01)
A 61 P	17/00	(2006.01)
A 61 P	17/02	(2006.01)
A 61 P	17/06	(2006.01)
A 61 P	19/02	(2006.01)
A 61 P	19/04	(2006.01)
A 61 P	27/02	(2006.01)
A 61 P	29/00	(2006.01)
A 61 P	31/04	(2006.01)
A 61 P	31/12	(2006.01)
A 61 P	35/00	(2006.01)
A 61 P	43/00	(2006.01)
C 07 K	14/47	(2006.01)
C 07 K	16/18	(2006.01)
C 07 K	19/00	(2006.01)
C 12 N	1/19	(2006.01)
C 12 N	1/21	(2006.01)
C 12 P	21/02	(2006.01)
C 12 N	5/10	(2006.01)
A 61 K	38/00	(2006.01)
C 12 R	1/19	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	Z N A A
A 61 K	31/7088	
A 61 K	35/76	
A 61 K	48/00	
A 61 P	1/04	
A 61 P	3/04	
A 61 P	9/00	
A 61 P	9/10	
A 61 P	9/14	
A 61 P	15/18	
A 61 P	17/00	

A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	19/04	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	43/00	1 2 1
C 0 7 K	14/47	
C 0 7 K	16/18	
C 0 7 K	19/00	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 P	21/02	C
C 1 2 N	5/00	B
C 1 2 N	5/00	C
A 6 1 K	37/02	
C 1 2 P	21/02	C
C 1 2 R	1:19	

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月19日(2008.3.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】抗血管形成活性を有する、ラミニンの鎖のG1ドメインの単離されたタンパク質である単離されたマチン。

【請求項2】マウスラミニンの1鎖のG1ドメインである、請求項1記載のマチン。

【請求項3】抗血管形成活性を有する、請求項1記載のタンパク質の多量体。

【請求項4】抗血管形成活性を有する、請求項1記載のタンパク質の1つ以上を含んでなるキメラタンパク質。

【請求項5】バスコスタチン、アレステン、カンスタチン、ツムスタチン、エンドスタチン、アンギオスタチン、レスチン、アポミグレン、および他の抗血管形成タンパク質ならびにそのフラグメントからなる群より選ばれる少なくとも1つのタンパク質分子をさらに含んでなる、請求項4記載のキメラタンパク質。

【請求項6】請求項1記載のタンパク質の1つ以上および薬学的に許容され得るキヤリアを含有してなる医薬組成物。

【請求項7】バスコスタチン、アレステン、カンスタチン、ツムスタチン、エンドスタチン、アンギオスタチン、レスチン、アポミグレン、および他の抗血管形成タンパク質ならびにそのフラグメントからなる群より選ばれる少なくとも1つのタンパク質分子をさらに含有してなる、請求項6記載の医薬組成物。

【請求項8】抗血管形成活性を有する、配列番号：2のアミノ酸2132～2338または

アミノ酸2148～2354を含んでなる、単離されたポリペプチド。

【請求項 9】 65で1×SSCおよび1%SDS(ドデシル硫酸ナトリウム)を
である高ストリンジエンシーな条件下で配列番号：1の核酸6442～7062にハイブリダイズ
する核酸配列にコードされ、抗血管形成活性を有する、単離されたマチン。

【請求項 10】 抗血管形成活性を有する、ラミニンのG1ドメインの単離されたタン
パク質。

【請求項 11】 抗血管形成活性を有する、ラミニンのG1ドメインと90%以上の配
列同一性を有する単離されたタンパク質またはペプチド。

【請求項 12】 抗血管形成活性を有する、ラミニンのG1ドメインと80%以上の配
列同一性を有する単離されたタンパク質またはペプチド。

【請求項 13】 抗血管形成活性を有する、ラミニンのG2、G3、G4およびG5ドメイン
からなる群より選ばれる単離されたタンパク質。

【請求項 14】 抗血管形成活性を有する、G2、G3、G4およびG5からなる群より選ば
れるタンパク質と90%以上の配列同一性を有する、請求項13記載のタンパク質。

【請求項 15】 抗血管形成活性を有する、G2、G3、G4およびG5からなる群より選ば
れるタンパク質と80%以上の配列同一性を有する、請求項13記載のタンパク質。

【請求項 16】 65で1×SSCおよび1%SDS(ドデシル硫酸ナトリウム)を
である高ストリンジエンシーな条件下で配列番号：1にハイブリダイズする核酸配列にコ
ードされる、請求項13記載のタンパク質。

【請求項 17】 抗血管形成活性を有する、ラミニンの鎖のGドメインの単離され
たタンパク質。

【請求項 18】 マウスラミニンの1鎖のG1ドメインである、請求項17記載の単
離されたタンパク質。

【請求項 19】 ラミニンの1鎖のG1ドメインである請求項17記載の単離され
たタンパク質、または配列番号：2の2132～2338もしくは2148～2354を含むそのフラグメン
ト。

【請求項 20】 マウスラミニンの1鎖のG2、G3、G4およびG5ドメインからなる群
より選ばれる、請求項17記載の単離されたタンパク質。

【請求項 21】 ラミニンの鎖のG1ドメインの単離されたタンパク質を含む、哺乳
動物組織と接触させることにより該組織における血管形成活性を阻害する医薬。

【請求項 22】 組織が、血管形成依存性癌、良性腫瘍、慢性関節リウマチ、糖尿病
性網膜症、乾癬、眼の血管形成疾患、オスター・ウェバー症候群、心筋血管形成、斑新生
血管形成、毛細血管拡張症、血友病関節症、血管線維腫、創傷肉芽形成、腸癒着、アテロ
ーム性動脈硬化症、強皮症、過形成性瘢痕、ネコ引っ掻き病、ヘリコバクターピロリ潰瘍
、透析移植片血管アクセス狭窄、および肥満症からなる群より選ばれる疾患有する個体
の組織である、請求項21記載の医薬。

【請求項 23】 医薬が避妊薬である、請求項21記載の医薬。

【請求項 24】 抗血管形成活性を有する配列番号：2のアミノ酸2132～2338または
アミノ酸2148～2354を含む単離されたポリペプチドを含む、哺乳動物組織と接触させること
により該組織における血管形成活性を阻害する医薬。